

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 武蔵野興業株式会社 上場取引所

コード番号 9635

表 者 (役職名) 代表取締役社長

URL https://www.musashino-k.co.jp (氏名) 河野 義勝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 中野 公一

(TEL) 03-3352-1439

半期報告書提出予定日

決算説明会開催の有無

2025年11月13日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無

:無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

		0 2013 11014	A-2 (2.2)	1. D %>4 I /				
	売上高	売上高 営業利益		経常利益		親会社株主 する中間約		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	632	△3.8	7	△64.7	26	14. 7	326	-
2025年3月期中間期	657	5. 8	21	_	22	-	19	-
(注) 包括利益 2026年3	月期中間期	328百万	5円(- 9	6) 2	2025年3月期中	中間期	19百万円	(-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	312. 32	_
2025年3月期中間期	18. 72	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	6, 257	3, 943	63. 0
2025年3月期	6, 071	3, 615	59. 5

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 3,943百万円 2025年3月期 3,615百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計						
	円 銭	円銭	円銭	円銭	円 銭			
2025年3月期	_	0.00	_	0.00	0.00			
2026年3月期	_	0.00						
2026年3月期(予想)			_	0. 00	0.00			

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	売上高 営業利益		益	経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1, 255	△8.0	12	△82. 7	40	△54. 1	340	423. 4	325. 00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 —社(社名) 、除外 —社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	1, 050, 000株	2025年3月期	1, 050, 000株
2026年3月期中間期	3, 873株	2025年3月期	3, 830株
2026年3月期中間期	1, 046, 159株	2025年3月期中間期	1, 046, 350株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあったての注意事項については、添付資料のP3「1.当中間決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報
(1)経営成績に関する説明 ······ 2
(2) 財政状態に関する説明
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2. 中間連結財務諸表及び主な注記
(1) 中間連結貸借対照表
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項9
(継続企業の前提に関する注記)9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)9
(会計方針の変更)9
(セグメント情報等)10
(収益認識関係)

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、所得環境の改善やインバウンド消費増加などの景気下支え要因が見られる一方、米国の関税政策をはじめとする不透明な世界情勢が及ぼす景気への影響、物価上昇による消費マインドへの影響など、引き続き注視が必要な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは基幹事業である映画事業に重点を置きつつ、各事業部門において業績の向上に努めてまいりました。また、2025年8月28日に公表した「投資有価証券売却益(特別利益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、当中間連結会計期間に投資有価証券売却益(特別利益)を計上しています。その結果、全体として売上高は6億3千2百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益は7百万円(前年同期比64.7%減)、経常利益は2千6百万円(前年同期比14.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は3億2千6百万円(前年同期比1,567.9%増)となりました。

当中間連結会計期間のセグメントごとの業績の状況は以下の通りであります。

(映画事業部門)

映画興行事業におきましては、「武蔵野館」では、好調に推移した『「桐島です」』や、本年度アカデミー賞国際長編映画賞受賞作品『アイム・スティル・ヒア』などを上映し、昨年を上回る成績となりました。また「シネマカリテ」では、『ニーキャップ』が好調に推移し、その他、昨年のカンヌ国際映画祭観客賞受賞作品『ユニバーサル・ランゲージ』、同じく昨年のカンヌ国際映画祭 2 冠『ブラッグ・ドッグ』などを上映しました。またイベント企画として『カリテ・アニメウィーク』も実施しました。

映画配給関連事業におきましては、当社連結子会社の配給作品『Dr. カキゾエ 歩く処方箋~みちのく潮風トレイルを往く~』(邦画)が、8月に公開され、各地の地方都市部をはじめ多くの劇場で上映されました。また、旧作につきましても『花椒の味』、『白日青春』など、自主上映会が行われました。

その結果、部門全体の売上高は 2 億 1 百万円(前年同期比11.1%減)、セグメント損失は 8 百万円(前年同期は 1 千 9 百万円のセグメント損失) となりました。なお、2025 年 8 月 7 日に公表した「シネマカリテ閉館に関するお知らせ」の通り、2026年 1 月12 日をもちましてシネマカリテを閉館することといたしました。

(不動産事業部門)

不動産賃貸部門におきましては、主要テナントビルの設備更新など維持管理に努めつつ、テナント収入は安定的に推移しました。不動産販売部門におきましては、引き続き仲介取引の拡大に努めました。その結果、部門全体の売上高は2億8千7百万円(前年同期比1.7%減)、セグメント利益は1億6千5百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

(自動車教習事業部門)

自動車教習事業部門におきましては、大型車、中型車、準中型車などの免許取得に対するニーズの高まりもあり、新規入所者数は昨年と同水準を維持しました。また、入所後の教習課程の消化も前会計年度に入所した既存入所者を含め順調に推移し、加えて受講者が増加傾向にある高齢者講習の受託数も前年同期間を上回りました。一方、教習車の買い替えなどにより費用が増加したため、セグメント損益は前年同期間を下回りました。その結果、部門全体の売上高は1億3千5百万円(前年同期比3.7%増)、セグメント損失は5百万円(前年同期は5百万円のセグメント利益)となりました。

(商事事業部門)

当該事業部門の主軸である東京都目黒区において経営委託している飲食店につきましては、営業成績は安定的に推移し、前年同期の水準を維持しました。その結果、部門全体の売上高は3百万円(前年同期比1.2%増)、セグメント利益は3百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

(その他)

主として自販機手数料でありますが、部門全体の売上高は3百万円(前年同期比5.8%増)、セグメント利益は3百万円(前年同期比6.0%増)となりました。

※ スポーツ・レジャー事業部門は営業中止中であります。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状況の分析

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、株式売却による現金及び預金の増加があったことなどから、前連結会計年度末に比べ1億8千5百万円増の62億5千7百万円となりました。

(負債)

負債合計は、未払債務の減少や有利子負債の返済による減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ1億4千2百万円減の23億1千3百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上等により利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ3億2千7百万円増の39億4千3百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、当中間連結会計期間に、営業活動において9千4百万円の資金を使用し、投資活動において3億9千2百万円の資金を得て、財務活動において2千5百万円の資金を使用した結果、前中間連結会計期間末に比べ、3億8千1百万円増の11億3千3百万円(前年同期比50.7%増)となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

〈営業活動によるキャッシュ・フロー〉

営業活動で使用した資金は9千4百万円(前年同期に得られた資金は4千8百万円)となりました。主な内訳は、 法人税等の支払9千6百万円等があったことによるものであります。

〈投資活動によるキャッシュ・フロー〉

投資活動により得られた資金は、投資有価証券の売却による収入4億7千6百万円等により、3億9千2百万円 (前年同期は5千1百万円の支出)となりました。

〈財務活動によるキャッシュ・フロー〉

財務活動により使用した資金は、長期借入金の返済による支出2千4百万円等により、2千5百万円(前年同期は2百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、2025年8月28日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861, 276	1, 133, 217
売掛金	39, 850	33, 566
棚卸資産	1, 171	840
その他	48, 183	53, 328
流動資産合計	950, 481	1, 220, 952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	451, 043	426, 658
機械装置及び運搬具(純額)	23, 411	57, 326
工具、器具及び備品(純額)	28, 484	27, 530
土地	3, 904, 167	3, 904, 167
リース資産 (純額)	5, 826	4, 910
有形固定資産合計	4, 412, 934	4, 420, 594
無形固定資産		
借地権	73, 315	73, 315
その他	12, 492	11, 779
無形固定資産合計	85, 808	85, 094
投資その他の資産		
投資有価証券	447, 628	365, 488
繰延税金資産	53, 774	49, 785
敷金及び保証金	88, 646	88, 646
その他	36, 489	30, 632
貸倒引当金	△4, 184	△4, 124
投資その他の資産合計	622, 353	530, 428
固定資産合計	5, 121, 096	5, 036, 116
資産合計	6, 071, 578	6, 257, 069

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	75, 761	57, 904
短期借入金	50, 743	52, 128
リース債務	1,832	1,832
未払法人税等	25, 011	4, 051
賞与引当金	15, 064	15, 138
その他	211, 904	146, 333
流動負債合計	380, 318	277, 388
固定負債		
長期借入金	261, 125	235, 061
リース債務	3, 994	3, 078
退職給付に係る負債	61, 314	48, 718
役員退職慰労引当金	8, 906	8, 906
長期預り敷金	618, 369	618, 369
再評価に係る繰延税金負債	1, 113, 651	1, 113, 651
その他	8, 603	8, 624
固定負債合計	2, 075, 964	2, 036, 410
負債合計	2, 456, 283	2, 313, 798
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 004, 500	1, 004, 500
利益剰余金	195, 973	522, 712
自己株式	△9, 156	△9, 252
株主資本合計	1, 191, 317	1, 517, 960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3, 349	4,682
土地再評価差額金	2, 420, 628	2, 420, 628
その他の包括利益累計額合計	2, 423, 978	2, 425, 311
純資産合計	3, 615, 295	3, 943, 271
負債純資産合計	6, 071, 578	6, 257, 069

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	657, 288	632, 296
売上原価	336, 422	300, 288
売上総利益	320, 866	332, 008
販売費及び一般管理費	299, 706	324, 540
営業利益	21, 159	7, 468
営業外収益		
受取利息及び配当金	2, 278	1, 882
持分法による投資利益	275	15, 914
その他	532	2, 775
営業外収益合計	3, 086	20, 571
営業外費用		
支払利息	1, 369	1, 333
その他	140	635
営業外費用合計	1,510	1, 969
経常利益	22, 735	26, 070
特別利益		
投資有価証券売却益	<u> </u>	376, 452
特別利益合計		376, 452
税金等調整前中間純利益	22, 735	402, 522
法人税、住民税及び事業税	6, 176	72, 407
法人税等調整額	△3,030	3, 376
法人税等合計	3, 146	75, 783
中間純利益	19, 589	326, 738
親会社株主に帰属する中間純利益	19, 589	326, 738

中間連結包括利益計算書

		(単位:千円)_
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	19, 589	326, 738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△116	1, 332
その他の包括利益合計	 △116	1, 332
中間包括利益	19, 473	328, 071
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	19, 473	328, 071

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	22, 735	402, 522
減価償却費	32, 880	40, 945
貸倒引当金の増減額(△は減少)	101	△60
受取利息及び受取配当金	△2, 278	△1,882
支払利息	1, 369	1, 333
持分法による投資損益(△は益)	△275	△15, 914
売上債権の増減額(△は増加)	△18, 313	6, 283
棚卸資産の増減額(△は増加)	96	330
仕入債務の増減額(△は減少)	6, 714	△17, 857
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△376, 452
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3, 543	△12, 595
未払消費税等の増減額(△は減少)	11, 347	$\triangle 5,508$
その他	△8, 223	△19, 220
小計	49, 698	1, 927
利息及び配当金の受取額	2, 278	1, 882
利息の支払額	△1, 585	$\triangle 1,332$
法人税等の支払額	△2, 222	△96, 826
営業活動によるキャッシュ・フロー	48, 169	△94, 349
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△45, 618	△90, 371
無形固定資産の取得による支出	△4, 897	△340
投資有価証券の売却による収入	-	476, 452
その他	△1, 365	6, 276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51, 881	392, 017
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30, 000	-
長期借入金の返済による支出	△31, 458	△24, 679
リース債務の返済による支出	△916	△916
自己株式の取得による支出	△270	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2, 644	△25, 690
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	△35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6, 388	271, 940
現金及び現金同等物の期首残高	758, 322	861, 276
現金及び現金同等物の中間期末残高	751, 934	1, 133, 217

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(会計方針の変更) 該当事項はありません。 (セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	映画事業	不動産事業	自動車教 習事業	商事事業	計	その他	合計
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	226, 651	24, 876	130, 801	3, 706	386, 035	3, 615	389, 651
その他の収益	_	267, 636	_	_	267, 636	_	267, 636
外部顧客への売上高	226, 651	292, 513	130, 801	3, 706	653, 672	3, 615	657, 288
セグメント間の内 部売上高又は振替高	_	1,800	_	_	1,800	_	1,800
計	226, 651	294, 313	130, 801	3, 706	655, 472	3, 615	659, 088
セグメント利益又は 損失(△)	△19, 425	169, 597	5, 515	3, 706	159, 394	3, 499	162, 894

- (注) 「その他」の区分は主として自販機手数料等であり、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 - 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	159, 394
「その他」の区分の利益	3, 499
セグメント間取引消去	9, 204
全社費用(注)	△150, 939
中間連結損益計算書の営業利益	21, 159

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- 4. 報告セグメントごとの資産に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				7 0 14	٨٩١	
	映画事業	不動産事業	自動車教 習事業	商事事業	計	その他	合計
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	201, 522	20, 955	135, 617	3, 750	361, 845	3, 826	365, 672
その他の収益	_	266, 624	_	_	266, 624	_	266, 624
外部顧客への売上高	201, 522	287, 580	135, 617	3, 750	628, 470	3, 826	632, 296
セグメント間の内 部売上高又は振替高	_	1,800	_	_	1,800	_	1,800
計	201, 522	289, 380	135, 617	3, 750	630, 270	3, 826	634, 096
セグメント利益又は 損失(△)	△8, 562	165, 103	△5, 095	3, 750	155, 196	3, 708	158, 905

- (注) 「その他」の区分は主として自販機手数料等であり、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 - 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	155, 196
「その他」の区分の利益	3, 708
セグメント間取引消去	6, 639
全社費用(注)	△158, 076
中間連結損益計算書の営業利益	7, 468

- (注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- 4. 報告セグメントごとの資産に関する情報 該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。